

原木需給情報システム開発事業関連海外情報

No.14, 13 August 2013



2012年台湾主要木製品の輸入状況

下表に示す 2012 年及び今年 1 月～4 月の台湾の主な木材製品の輸入量をみると、2012 年の原木輸入量は 71 万 5,754m³にのぼり、世界金融危機以前の 80 万 m³以上の水準に回復していない。

輸入原木の調達先の中で、マレーシアからの輸入は、原木輸入の 55%を占める 39 万 3,600m³で最も大きく、首位を維持している。この国から主に建築用製材及び構造用角材製造向けのラワン及び熱帯産雑木を輸入している。

日本からの輸入原木は主にスギであり、主に建築用コンクリート型板の加工に利用されている。台湾は 2009 年より日本からスギ原木を輸入し始め、同年の輸入量は約 4,500m³であるが、2010 年に約 4 万 m³、2011 年に 5 万 8,000m³、2012 年に原木輸入の 9.6%を占める 6 万 8,600m³に達している。

ニュージーランドからの輸入原木は、主にラジアタパインで合板、LVL の製造に使用されており、原木輸入の 9.4%を占める 6 万 7,000m³である。

パプアニューギニアからの原木輸入は 6 万 300m³で、原木輸入の 8.4%を占める。同国から主に多樹種の熱帯雑木を輸入しており、主にマレーシアからのラワン原木の不足、価格上昇時の代替材として利用されている。

ミャンマーからの原木輸入は 3 万 6,700m³で、原木輸入の 5.1%を占める。同国から主にチークを輸入して、家具製作、内装、フローリングに使用されている。

製材品輸入量は、2012 年に 115 万 4,046m³であり、前年の 128 万 m³より 12 万 m³余を減少したが、依然として高水準を維持している。これは、主に中国大陸のパレット、包装材の大きな需要によるためである。

輸入製材品の調達先をみると、カナダからの輸入は 40 万 m³で最多であり、製材品輸入の 34.7%を占める。輸入製材品の樹種をみると、サザンパインが中心

で、包装材、パレット、防腐材の用途に使われている。

米国は第2位の輸出国で、製材品輸入の16.6%を占める19万1,000m³にのぼる。同国から主にベイマツを輸入し、内装材や集成材の製造に使っている。

マレーシアからの製材品輸入は15万9,000m³にのぼり、製材品輸入の13.8%を占める。同国から主にラワン、熱帯雑木を輸入し、数多く内装の仕上材、デッキ材、景観用材の加工に使っている。

ニュージーランドからの製材品輸入は、同8.8%を占める10万1,000m³に達しており、主に包装材向けである。

合板輸入量は、2012年に63万9,163m³にのぼり、2008年の60.5万m³、2009年の53万m³よりを上回っている。

輸入合板の調達先をみると、最も多いのはマレーシアであり、45.3%を占める。第2位は中国で、41.8%を占める。第3位はインドネシアで11%を占める。なお、中国から輸入した26万7,000m³合板の中に、約7万m³のLVLを含む。台湾ではここ数年、過去長期にわたりマレーシアラワン原木により製作する一部の無垢材の角材の代替材として、LVL角材が注目されてきている。

ブロックボード製造向けのランバーコアの輸入量は、2012年に約31万682m³となり、これまでの10年間の最も少ない輸入である。これは、近年の建築業界の低迷、内装需要の縮小による結果である。

輸入ランバーコアは、主にインドネシアから輸入したマラッカギンネムを原料としたものであり、約90%を占めている。そのほか、マレーシアから輸入したラワン及び熱帯産雑木によるランバーコアは、年間約2万m³である。なお、近年、フィリピンから年間3,000~4,000m³を輸入している。

ブロックボードは台湾の合板産業の主要生産品目であるため、その輸入量は少ない。2012年の輸入量はわずか9,611m³であり、主にマラッカギンネムを用いたブロックボードである。

単板の2012年輸入量は、22万3,351m³にのぼり、その中で少数はイタリア及び中国から輸入した化粧張り用のスライス単板であるが、大部分は合板、木ブロックボード、LVLの製造に利用されている。

単板の輸入先をみると、マレーシア13万9,000m³（単板輸入の62.3%を占める。ラワン・熱帯産雑木単板）、中国3万2,000m³（同14.3%、ユーカリ単板）、ニュージーランド1万5,000m³（同6.7%、ラジアタパイン単板）、ベトナム1万4,000m³（同6.3%、ユーカリ単板）となっている。

パーティクルボードの2012年輸入量は、27万4,220m³にのぼり、歴年輸入の水準を維持している。

主な輸入先は、タイ10万1,000m³（パーティクルボード輸入の36.8%を占める）、ポルトガル4万3,800m³（同16%）、スペイン3万7,500m³（同13.7%）、オーストリア3万300m³（同11%）、ルーマニア1万8,500m³（同6.8%）となっている。

繊維板の2012年輸入量は約16万m³であり、ここ10年間の低水準である。この原因のひとつは、より安いパーティクルボードによる代替利用が進んでいるとみられる。

主な輸入先は、タイ8万m³（繊維板輸入の50%を占める）、中国1万6,000m³（同10%）、マレーシア1万5,500m³（同9.7%）、インドネシア9,000m³（同5.6%）、オーストラリア及びニュージーランド1万3,000m³（同8.1%）、チリ7,300m³（同4.6%）となっている。

台湾主要木材製品輸入量（2012年及び今年1～4月）

品目	2012年（m ³ ）	2013年1～4月（m ³ ）
原木	715,754	261,106
製材品	1,154,046	386,382
合板	639,163	222,250
ランバーコア	310,682	135,482
ブロックボード	9,611	3,269
単板	223,351	87,055
パーティクルボード	274,220	82,533
繊維板	160,042	50,361

出所：台湾輸入統計

（海外レポートに基づき抜粋・編集）